

令和6年度

# 文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 北海道登別市

自治体名：北海道登別市

担当課名：登別市教育委員会教育部社会教育グループ

電話番号：0143-88-1129

# 1.自治体の基本情報



## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 212.21km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 43,615人               |
| 公立中学校数                 | 6校                    |
| 公立中学校生徒数               | 1,079人                |
| 部活動数                   | 9部活                   |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                   |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

生徒数や教員数の減少により、部活動の種類が減少している一方で、生徒のニーズは多様化しており、希望するスポーツ活動に取り組むことができない生徒が増加している。

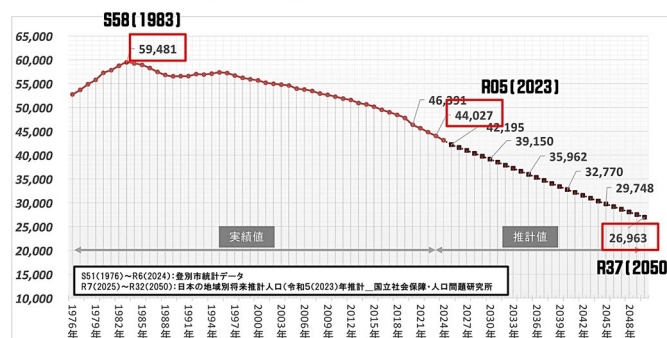
登別市においては、令和4年に児童生徒とその保護者を対象に実施したアンケートにおいても、部活動の地域移行に賛成という回答が75%を超えるなど、早期の地域移行が求められている状況にある。

加えて、今後も人口減少・少子高齢化の進展が見込まれる中、地域スポーツにおいても、団体活動の縮小や停滞が進んでいることから、まずは

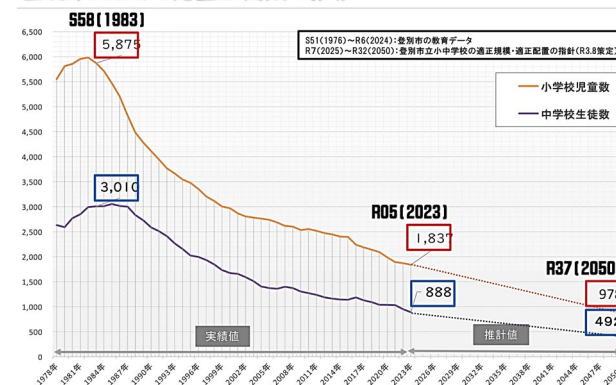
中学生の活動の場を確保を進め、将来的には子どもから大人まで、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の構築を図り、地域全体で本市のスポーツを支える「地域とともにあるスポーツの振興」を目指す必要がある。

そこで、登別市においては、これまで本市の文化・スポーツの振興に取り組んできた「一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団」が新たな地域クラブ「登別市地域クラブ」を立ち上げ、中学生にとって望ましいスポーツ環境を整え、市教育委員会や他のスポーツ関係団体がその取組を支援していくこととした。

登別市における総人口の推移と将来人口



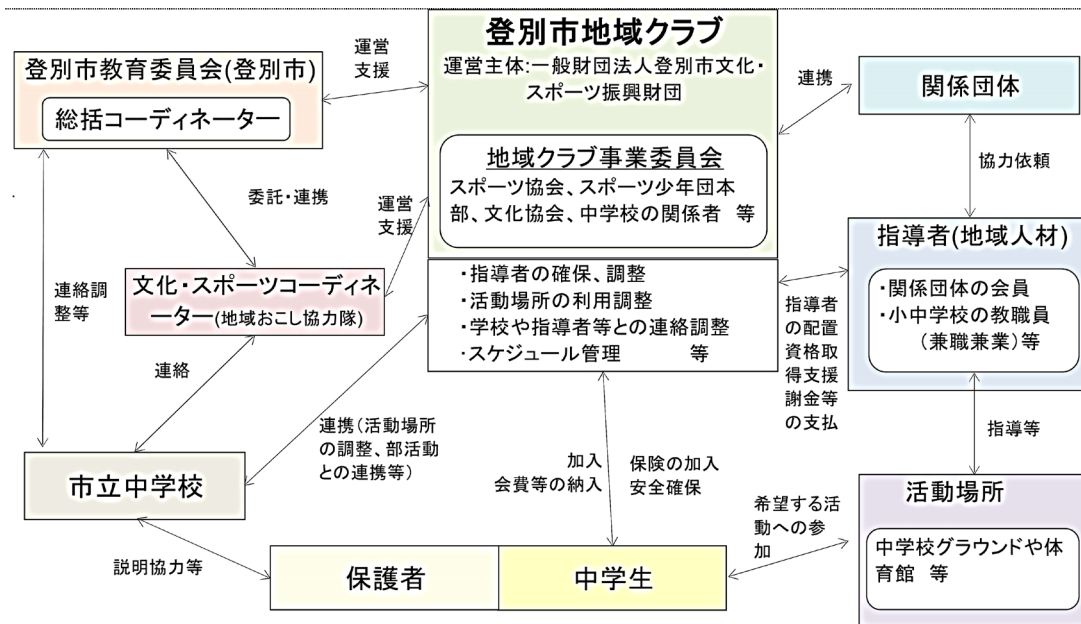
登別市における児童生徒数の推移



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ◎教育委員会

- ・新たな地域クラブ活動の推進や持続可能なスポーツの振興等に向けた支援
- ・平日の移動手段確保に向けた貸切バスの運行

#### ◎首長部局

- ・財源や人員の確保

### 年間の事業スケジュール

|         |                                                                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年4月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市地域クラブの体験会実施開始（合唱）</li> <li>・新1年生に向けた登別市地域クラブの周知</li> <li>・平日の移動手段確保に向けた貸切バスの運行テスト</li> </ul> |
| 令和6年5月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市地域クラブの活動開始（合唱）</li> <li>・平日の移動手段確保に向けた貸切バスの運行</li> </ul>                                     |
| 令和6年10月 | 市内各中学校の新入生保護者説明会において、登別市地域クラブの周知                                                                                                        |
| 令和6年12月 | 新1年生を対象とした見学（体験）会の開催                                                                                                                    |
| 令和7年3月  | 会員に対し、地域クラブの継続意向確認                                                                                                                      |

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |       |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-------|
| 中学校数     | 5 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 1 クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 0 クラブ |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 1 クラブ |
| 全体の指導者数  | 3 人                                          | 全体の運営スタッフ数  | 1 人   |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名         | 運営団体<br>種別                           | 種目<br>※新規のものは<br>末尾に（新）を<br>付ける | 実施<br>回数 | 実施時間帯                    | 参加者<br>（学年<br>別）     | 実施期間                  | 活動場所 | 指導者<br>数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費            | 大会参加<br>方法 |
|--------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------|--------------------------|----------------------|-----------------------|------|----------|----------------------|---------------|------------|
| 登別市<br>地域クラブ | 一般財団<br>法人登別<br>市文化・ス<br>ポーツ振興<br>財団 | 合唱                              | 週2回      | 平日 16時30分<br>～<br>18時30分 | 1年3名<br>2年0名<br>3年1名 | 令和6年5月<br>～<br>令和7年3月 | 市民会館 | 3 人      | 1 人<br>（内、兼務1人）      | 月会費<br>1000 円 | 地域クラブ      |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 令和6年4月に、中学1・2・3年生を対象とした体験会を実施
- 令和7年3月に、小学6年生や中学1・2年生を対象とした体験会を実施

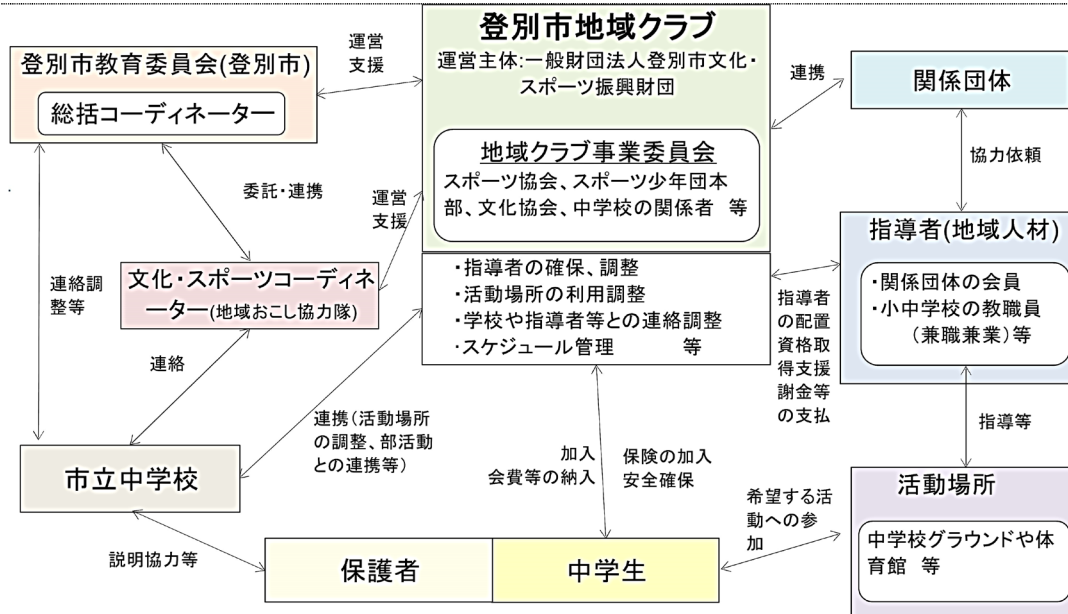
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●登別市地域クラブ 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 合唱、(サッカー、野球、バレーボール、ソフトテニス、卓球)                   |
| 運営団体名           | 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団                            |
| 期間と日数           | 〇週2回程度(平日1日)<br>合唱：5月1日～3月31日                   |
| 指導者の主な属性        | ・中学校教職員(兼職兼業)<br>・地域の指導者等                       |
| 活動場所            | 市民会館                                            |
| 主な移動手段          | 平日：学校間を巡回するバス                                   |
| 1人あたりの参加会費等(年額) | 12,000円                                         |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団(運営主体)

役割：指導者の確保、調整等、会費等の徴収、指導者への謝金支払い等

##### ●指導者(有償ボランティア)

役割：活動計画の策定や技術指導、大会の引率等

##### ●市教育委員会(総括コーディネーター)

役割：運営に対する補助、新たに活動を開始する種目への調整等

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

元中学校校長を総括コーディネーターとして市教育委員会に配置し、新たな地域クラブの運営主体となる一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団と連携して、運営体制の整備や人材の確保等を行う。

また、同財団と中学校やスポーツ・文化芸術団体等との連絡調整や指導助言を行うなど、円滑なクラブ運営に向けた支援等を行う。

##### 取組の成果

登別市においては、市内のスポーツ関係団体等の代表者で構成する「地域スポーツのあり方検討委員会」において、文化活動も含めた新たな地域クラブを運営することが望ましいとされた一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が令和5年度に「登別市地域クラブ」を設立し、一部の競技について休日の活動を開始した。

まずは休日の部活動を令和7年度末までに全て移行することを目標とし、平日の活動についても準備が整ったものから活動を開始することとしており、令和6年度には、新たな種目の活動スタートに加え、平日も含めた活動の開始を予定している。そのためにも、中学校をはじめとしたさまざまな団体等との連絡調整や運営に伴う指導助言を行う総括コーディネーターの配置が必要不可欠であった。

本市においては、総括コーディネーターに加え、独自事業として、地域おこし協力隊として「文化・スポーツ推進コーディネーター」を配置したほか、地域クラブ活動推進主幹を市教育委員会に配置し、市立中学校5校の校長と定期的に打ち合わせの場を設け、各取組の進捗や新たに発生した課題などの情報を共有するなどして、登別市地域クラブの円滑な運営に努めた。このことにより、文化活動としては1種の活動を開始し、吹奏楽などの活動開始に向けたモデル構築を図るなど、地域展開の推進が図られた。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

運営団体である一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団との打ち合わせにおいて、全国における他自治体の事例やこれまでの知見を踏まえながら、本市に望ましい地域展開の形を提案したほか、中学校や教職員との橋渡し役となり、地域展開に寄与した。

##### 今後の課題と対応方針

元中学校校長の総括コーディネーターを引き続き配置し、登別市地域クラブにおける活動内容の幅を広げ、さらなる地域展開を図る。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

登別市文化協会、小中学校などの関係団体と連携し、地域から広く募集することなどにより、指導者の確保を図る。

##### 登録者属性

- ・中学校教職員  
(兼職兼業)
- ・地域の指導者

##### 種目

- ・合唱

##### 資格有無

- ・なし（経験あり）

##### 取組の成果

当初においては、登別市文化協会など、文化関係団体からの指導者確保を図ったが、個人への教室などを開講しており、地域指導者を担うことは難しかった。現状においては、さまざまな経緯で、協力に至った方の協力により、地域指導者を確保できている状況だが、持続可能な地域の文化振興を図るため、生涯を通じた活動の場を確保する必要性を市内の文化関係団体と共有し、連携して指導者確保及び育成に取り組む必要がある。

現在、地域で活動する指導者は、すでに何らかの活動に関わっていることから、地域クラブの指導者の確保にあたっては、新たな人材の掘り起こしが必要となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

登別市地域クラブを運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団において、地域クラブ事業の運営に際し、市内の文化団体や中学校の関係者等が参画する事業委員会を設置し、連携した体制を構築する。

また、「文化・スポーツ推進コーディネーター」（地域おこし協力隊）を配置し、新たな地域クラブの運営支援と関係団体間の連携強化、地域のスポーツ・文化芸術の振興に向けた新たな事業の企画・実施などを行う。

##### 取組の成果

本市においては、市内のスポーツ関係団体等の関係者で構成する「地域スポーツのあり方検討委員会」を設置し、団体間の連携を図りながら令和2年度から中学校部活動の地域移行を含めた検討を行ってきた。

各団体においては、会員数等の減少や担い手不足などの課題を抱えていることもあり、同検討会議において、今後もさらなる連携強化を図る必要があると認識を一つにしており、同検討会議が令和4年12月にまとめた提言書においては、地域クラブの運営を担うとともに、総合体育館や市民会館などの社会教育施設の指定管理も担っている一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が中心となって、文化も含めた、世代や団体の垣根をこえた文化・スポーツに携わることができる環境づくりを取り組むべきとされた。

これらを踏まえ、地域クラブの事業委員会にも、関係団体が参画し、地域クラブ活動を含めた地域の文化活動の推進に向けて、目標を一つに取り組んでいる。

##### 今後の課題と対応方針

中学校部活動の地域展開を含めた本改革は、さまざまな団体に関わり、非常に大きな取組となっている。そのため、中長期的な視点をもちながら、時間をかけて、取り組む必要がある。現状、登別市文化・スポーツ振興財団が運営する地域クラブ活動は、年々、活動の幅を広げていることから、引き続き取り組むとともに、将来的には地域クラブ活動をベースとした多世代、他団体にまたがる活動への展開を目指す。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

登別市地域クラブにおいて、活動場所への移動は、原則各自としているものの、学校がある平日については、放課後の限られた時間での活動となっており、放課後に速やかに活動場所へ移動しなければならない。

しかし、登別市においては、中学校間の距離は最大で約20kmあるほか、公共交通機関の便数は少なく、各自で移動することが困難となっているため、移動手段の確保が大きな課題となっている。

そこで、登別市教育委員会において、平日の活動日に、学校間を巡回する貸切バスを運行し、平日における移動手段の確保を図る。

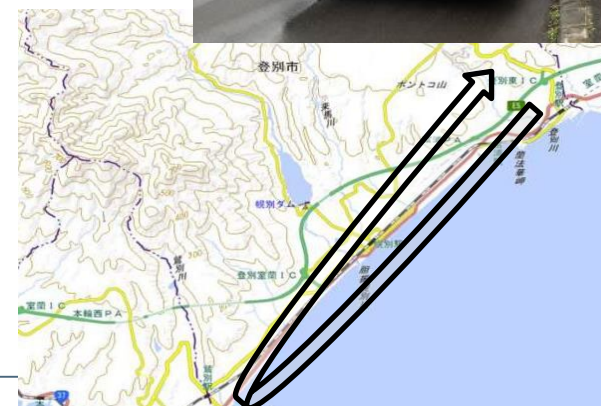
##### 巡回バスの概要

運行日：火・木・金曜日（固定）  
（祝日や長期休業期間を除く）

※地域クラブの活動は、火・木・金曜日に限定

運行会社：（株）中田商会

往 路：市内5つの中学校（付近）を巡回し、各学校の生徒は、学校間を移動  
復 路：各学校を巡回するとともに、一定間隔で下車場所を設け、各自下車



##### 取組の成果

バス運行経路を確定させるため、年度当初は個別発注で週ごとにコースや停車場などを変更し、バスを運行。6月24日より委託契約を結び、貸切バスを運行した。

6月24日から2月28日までに、85回運行し、累計3,289人が利用した。

現状、平日活動を行っている種目については、活動を継続していくには、バス運行が必須な状況にある。

##### 今後の課題と対応方針

平日活動を行うにあたって、移動手段の確保が課題となるが、費用負担も考慮し、バス運行の実証事業を継続し、さらなる検証を図る必要がある。また、平日が増えた場合に、1台の大型バスでは乗車定員を超えてしまう可能性もあるが、バスの運転手不足などにより、増便は困難となっていることから、活動場所の調整や他の交通手段との連携なども含め、検討していく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

市立中学校の部活動で現在実施している全ての競技について、令和7年度末を目途に地域クラブで活動を開始できるよう準備を進める。

なお、令和6年度においては、これまで学校部活動にはなかった合唱の平日活動を開始し、その他の文化活動の活動開始に向けて、体制構築を図る。

また、子どもたちの幅広いニーズに合わせ、特定の活動に限らず、気軽に文化に触れることができる活動の場づくりを検討する。

なお、入会や退会を随時受け付けるほか、一時的な休会も可能とするなど、柔軟に参加できる仕組みを構築する。

活動ごとの特性があり、それぞれ地域移行に向けた課題が異なっている。そのため、指導者や活動場所の確保、学校部活動の実情等を勘案しながら、地域移行が可能な部活動から順次活動を開始することとしている。

| 活動の詳細  |                                                                                                                                                                                                           |      |                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| 参加人数   | 1 5 5 人                                                                                                                                                                                                   | 指導者数 | 3 人               |
| 具体的な内容 | 登別市地域クラブにおいて、各種目ごとにチームを立ち上げ活動（現状は、1 人 1 チームに所属し、チーム間の異動は可能としている）<br>【活動中のチーム】<br>・サッカーチーム                      ・ソフトテニスチーム<br>・野球チーム                            ・卓球チーム<br>・バレーボールチーム                ・合唱チーム |      |                   |
| 運営経費   | 主な経費                                                                                                                                                                                                      |      | 令和6年度予算額          |
|        | 報償費（指導者への謝金）                                                                                                                                                                                              |      | 6, 7 9 8, 2 0 0 円 |
|        | 旅費（指導者の大会引率旅費）                                                                                                                                                                                            |      | 6 8 8, 0 0 0 円    |
|        | 保険料（指導者分）                                                                                                                                                                                                 |      | 4 0 4, 7 0 0 円    |
|        | 消耗品費（クラブ関係経費）                                                                                                                                                                                             |      | 6 0 0, 0 0 0 円    |
|        | 負担金（大会参加費等）                                                                                                                                                                                               |      | 4 5 3, 0 0 0 円    |

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

経済状況等によって、生徒が活動に親しむ機会が失われることがないよう、可能な限り低廉な会費とするなど、支援のあり方について検討する。また、地域の企業等から賛助金を受けるサポーター制度の構築を検討する。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

・ピアノ（楽器）の購入 など  
⇒合唱については、吹奏楽と比べ、必要備品が少なく、支出を抑えることが可能

##### ■ランニングコストの分析

・報償費（指導者への謝金）  
・事務局の運営経費 など  
⇒地域クラブの運営に際し、主たる経費はほぼランニングコストとなっている。そのため、受益者負担のみで賄うためには、かなり高額な負担を求める必要がある。

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年度における登別市地域クラブの会員負担

##### ○会費

平日・休日ともに活動 月1,000円

休日、平日どちらのみ 月 500円

##### ○活動費

一律 月 500円

計) 月1,000円～1,500円

その他の経費は、登別市からの運営経費の補助等で賄う。

⇒移行期においては、費用負担の公平性の観点から、市からの補助等により、低廉な価格に設定。一方で、全ての費用を受益者負担で賄うことは、現実的ではなく、国や北海道、市町村での負担にかかる方向性が示されたのちに適正な受益者負担を決定。

##### 収支バランス

登別市地域クラブにおける支出額（令和6年度予算額）

15,761,968円 …A

会費及び活動費の収入予定額（令和6年度予算額）

1,169,500円 …B

負担割合（B/A） ～ 7.42%

⇒受益者負担の適正化を図るとともに、支出経費の見直しなども並行して行う必要あり

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

活動内容によって活動場所が限られていることから、公共施設等の活用について検討する。

##### 取組の成果

合唱についても、他の活動同様、中学校施設の利用を検討したものの、体育館について、学校開放事業で利用していることもあり、校舎と体育館をシャッター等で区切り、校舎に立ち入ることなく、利用可能となっているが、校舎側は区切りがなく、現状においてはセキュリティ上の課題が多く、利用することができなかった。

そのことから、登別市地域クラブを運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が指定管理者となっている市民会館の一室を利用することとした。なお、指定管理者における事業として、利用料は免除となったほか、使用する部屋を限定しないことで、他の利用に影響なく使用することができた。



##### 今後の課題と対応方針

合唱は、使用備品が少なく、場所も防音性が比較的高い部屋1室のみを利用するため、比較的容易に活動場所を確保することができたが、吹奏楽など、他の文化活動については、複数の部屋を使用したり、楽器等の保管も必要となる場合もある。そのため、公共施設を利用することとした場

合には、他の一般利用への影響が非常に大きく、課題が多い。今後の活動内容拡充に向けて、さまざまな可能性を視野に、引き続き、活動場所の確保に向けた取組を進める。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

登別市においては、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が、令和5年度に「登別市地域クラブ」を設立し、地域クラブ活動を推進している。

本市では、総括コーディネーター（会計年度任用職員）や地域おこし協力隊（文化・スポーツ推進コーディネーター）を配置するとともに、同クラブ活動にかかる経費を補助金として支出するなど、支援を行い、地域展開を図ってきた。

また、令和6年度から開始した平日活動における課題解決のため、実証事業を活用し、学校間を巡回するバスを運行し、さらなる推進に努めた。

その結果、登別市地域クラブにおいては、6種（スポーツ5種、文化1種）のチーム活動を実施し、令和7年度には、新たに3種のチーム活動開始を予定している。そのほか、多様な活動に向けて、スポット活動の実施についても検討するなど、中学生にとって望ましい文化・スポーツの環境づくりが進められている。

#### ●成果の評価

実証事業において実施した総括コーディネーターの配置と巡回バスの運行について、両事業ともに、登別市地域クラブの推進に必要不可欠なものとなった。

地域クラブ活動の推進にあたっては、これまでの学校部活動の良い所を引き継いだ上で、進めていく必要があり、学校に精通している元中学校校長が総括コーディネーターをして学校との橋渡し役となったことが、円滑なクラブ運営につながったものとする。

また、登別市においては、平日活動と休日活動の連携などから、休日の活動だけではなく、平日の活動についても可能な限り地域クラブ活動として実施していくことが望ましいと考えており、平日活動の課題となる移動手段の確保に向けて、バスを運行することで、その必要性や事業内容、経費等を検証することができた。

#### ●今後に向けて

登別市においては、令和2年度より、スポーツ関係団体等が地域スポーツの課題解決に向けて検討を開始し、令和4年度に方向性を見出し、現状、その目標に向かって、関係団体が文化関係団体を含め一体となって取組を進めている。

本市では、地域クラブ活動の推進を、持続可能な地域の文化振興への足がかりと考えていることから、引き続き、地域クラブ活動を推し進め、まずは中学生にとって望ましい文化芸術環境の構築を図っていく。

## 2.実証内容と成果④

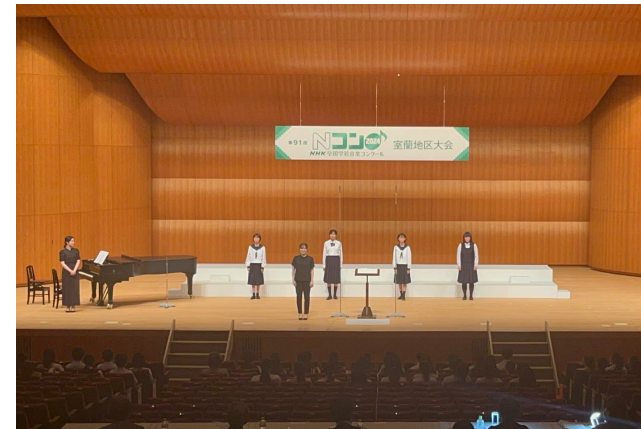
### 参考資料（活動写真）



【登別市地域クラブのさまざまな情報が掲載されるホームページ】

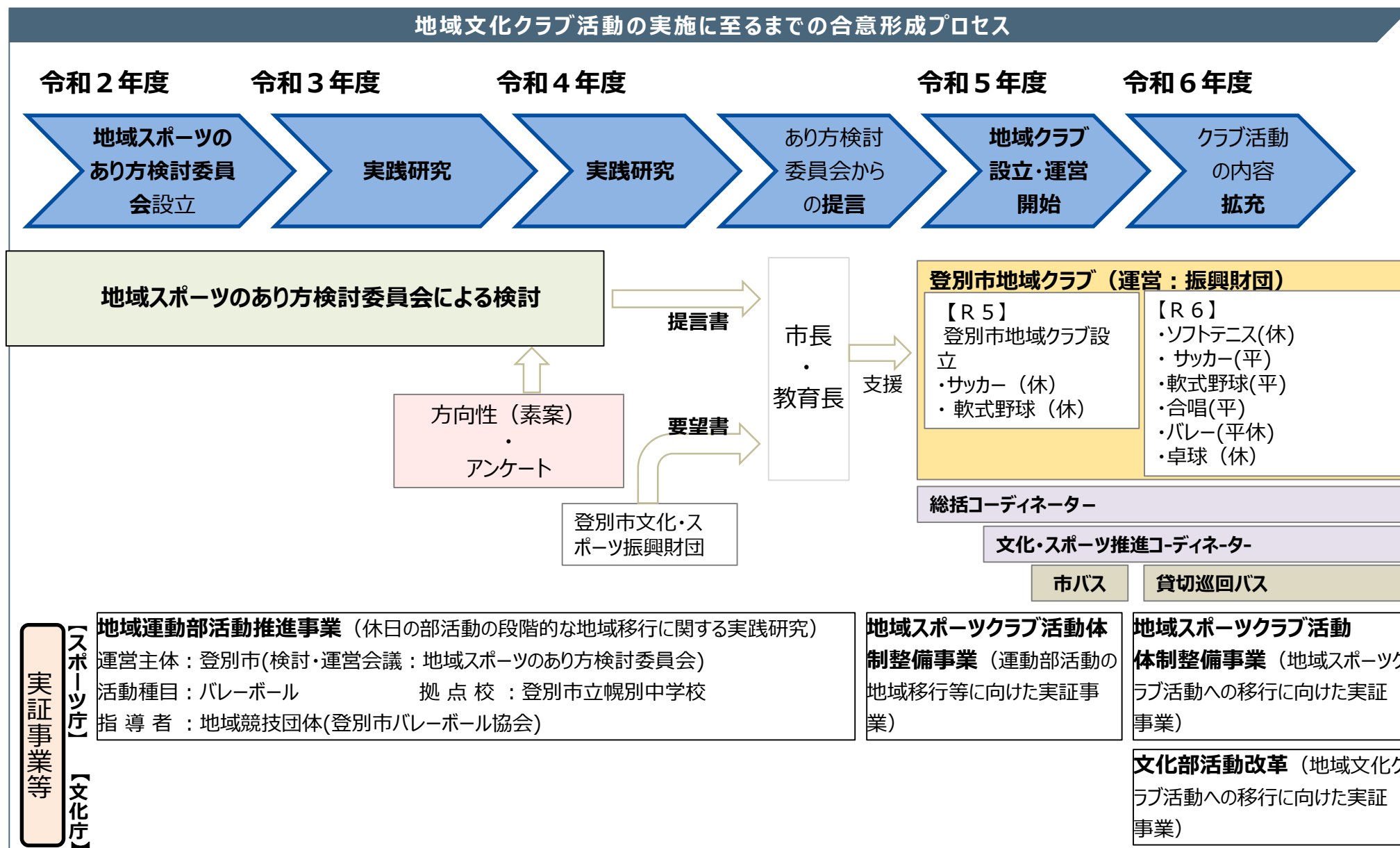


【学校間を巡回するバス】



【活動の様子（合唱チーム）】

## 2.実証内容と成果



### 3.今後の方向性

| 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ |                                         |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
|------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------|------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|                        | 2023年度<br>(R5)                          | 2024年度<br>(R6)                      | 2025年度<br>(R7)         | 2026年度<br>(R8) | 目指す姿                                                                                                             |  |
| 登別市地域クラブ               |                                         | 地域クラブ活動の推進（地域クラブ活動の体制構築）            |                        |                | ○中学生のスポーツ・文化芸術に親しむ機会の確保、生徒の健全な育成<br>○生涯を通じた運動習慣づくりや文化芸術等の愛好の促進<br>○スポーツ・文化芸術活動を通じた交流の輪の拡大<br>○地域とともにある文化・スポーツの振興 |  |
|                        |                                         | 地域クラブ活動の推進（平日の学校部活動を順次地域クラブ活動として活動） |                        |                |                                                                                                                  |  |
|                        |                                         |                                     | 多様な活動に向けて、スポット活動を検討・実施 |                |                                                                                                                  |  |
|                        | さまざまな課題解決に向けて、運営体制等を適宜見直し               |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
| 市                      | 地域クラブに運営に対する支援（補助金の支出、新たな活動開始に向けた連携・協力） |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
|                        | 総括コーディネーターの配置                           |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
|                        |                                         | 巡回バスの運行（実証事業）の検証                    |                        |                |                                                                                                                  |  |
| 中学校                    | 学校部活動の縮小・廃止                             |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
|                        | 地域クラブにおいて指導を希望する教職員への配慮                 |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
| スポーツ団体                 | 地域クラブにおける指導者確保に向けた協力                    |                                     |                        |                |                                                                                                                  |  |
|                        |                                         |                                     | 多様な活動に向けたスポット活動への連携・協力 |                |                                                                                                                  |  |